

銀河形成研究の最前線： 「自称」若手研究者のビジョン

2008/2/13-15

世話人：

濱名崇(国立天文台)
柏川伸成(国立天文台)
児玉忠恭(国立天文台)
矢作日出樹(国立天文台)
榎基宏(東京経済大学)
長島雅裕(長崎大学)

本研究会は、国立天文台研究集会として開催され、自然科学研究機構機構長留め置き金と合わせて補助を受けています。



(c)島本和彦

背景

- 2006年12月（1年ちょっと前）、長崎でセミナー関係者＋ α で内輪のミーティングを開催
 - 「準解析的手法による銀河形成研究の展望」2006年12月3日-12月8日
 - かなりディープな研究会
- 濱名氏より、「次回はやはり観測家とのリンクを重視してやろう」と提案

12/3 夜 welcome party

12/4 9:30 「はじめに」長島雅裕(長崎大教育)

9:35 「 ν GC・三鷹モデルの現状と課題」長島雅裕(長崎大教育)

11:30 「SMBH/QSO形成」榎基宏(国立天文台)

13:00- 昼食

14:00 「The semi-analytic model for early galaxy formation」吉田直紀(名大理)

12/5 9:30 「銀河形成シミュレーションの展望」岡本崇(国立天文台)

11:00 「ダスト放射銀河」榎基宏(国立天文台)

12:30- 昼食

13:30 「QSO吸収線系」大越克也(国立天文台/電通大)

15:30 「銀河・銀河団の化学進化」長島雅裕(長崎大教育)

12/6 10:40 「Ly α emitters」小林正和(京大宇物)

12:30- 昼食

13:30 「 ν GCに関するN体計算の解説と展望」矢作日出樹(東大理)

15:30 「高エネルギー宇宙物理との関係」長島雅裕(長崎大教育)

12/7 9:30 「銀河の空間分布」矢作日出樹(東大理)

11:00 「準解析的銀河シミュレーションに望むこと、weak lensingと銀河のclustering studyの視点から」濱名崇(国立天文台)

12:30- 昼食

13:30 「ディスク銀河の力学応答とTully-Fisher関係」小山博子(早稲田大理工)

12/8 9:30 「Analysis of Spatial Distribution of Galaxies in Numerical Galaxy Catalog」上田晴彦(秋田大教育)

11:00 「銀河の環境効果、銀河の色」岡本崇(国立天文台)

12:30 「まとめ」長島雅裕(長崎大教育)

13:00- 昼食

14:00 全体討論

研究会の目的(1)

- 理論（セミアナ、シミュレーション、etc）と最新の観測との意思疎通を図り、今後の共同研究への第一歩とする
- （10年後、20年後というよりも）いま何をすべきなのか、我々は何をしたいのかを明確にする
 - おそらく、science-base での将来計画の議論にも有効であると期待
- そのため、公平なレビューははじめから目指さず、実際に自分で手を動かしてバリバリ研究をすすめている人に招待講演をお願いした

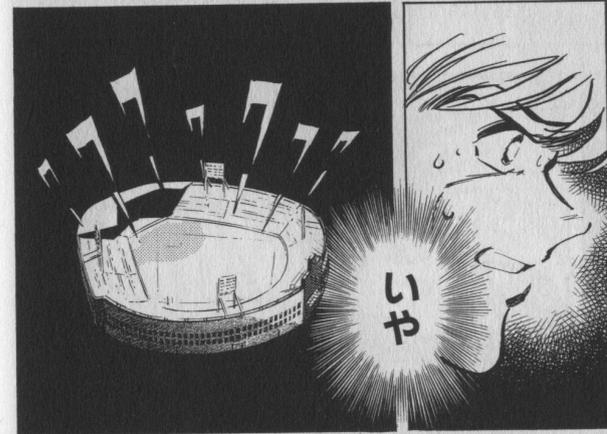
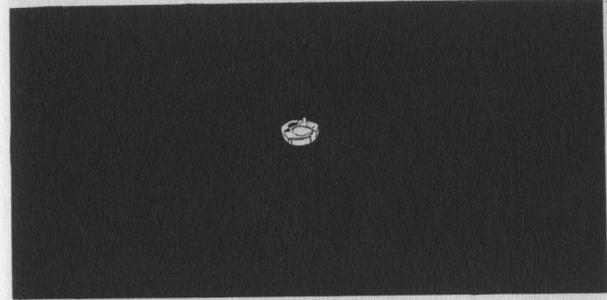
研究会の目的(2)

- 銀河形成に関連する研究は進んでおり、個別のことについては色々わかってきた。が…
「銀河形成」のどこまでがわかったのか？
- 我々は何を知りたいのか？何を理解したいのか？当面の（各自の）目標を明確にする
- ある程度焦点が絞られれば、自然にそこに向かって共同研究は進むであろう
- 同じ対象で別の観点・異なる対象で同じ観点、等、幅を広げたい
- しかしやはり、最終的な目標は銀河の形成過程をイメージできるようにすること：大目標

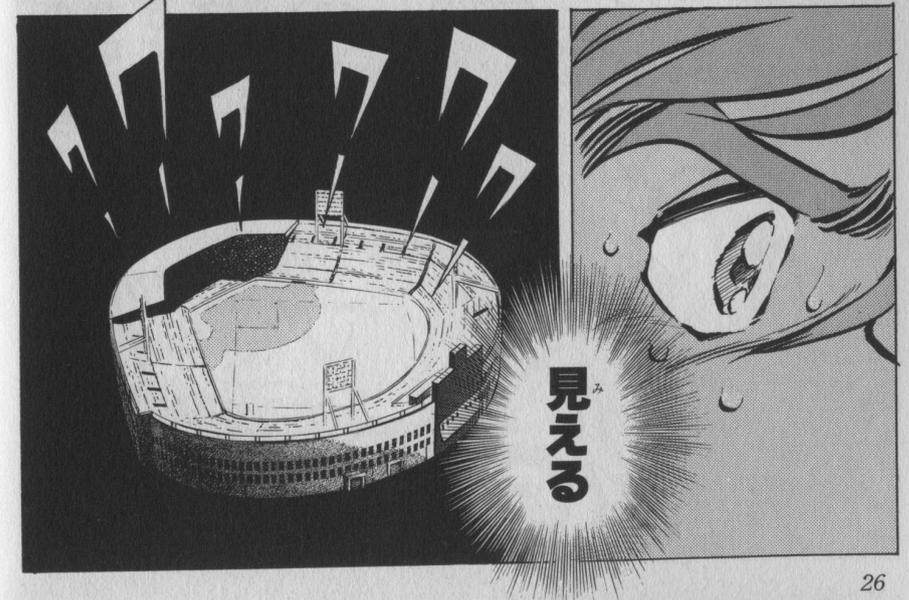


甲子園が
見える!!

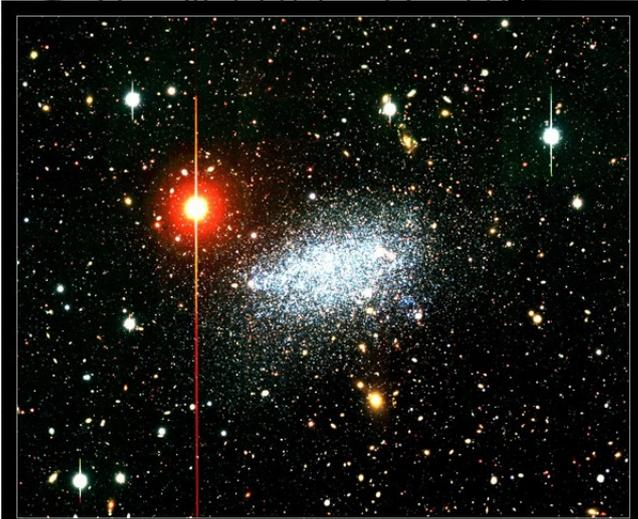
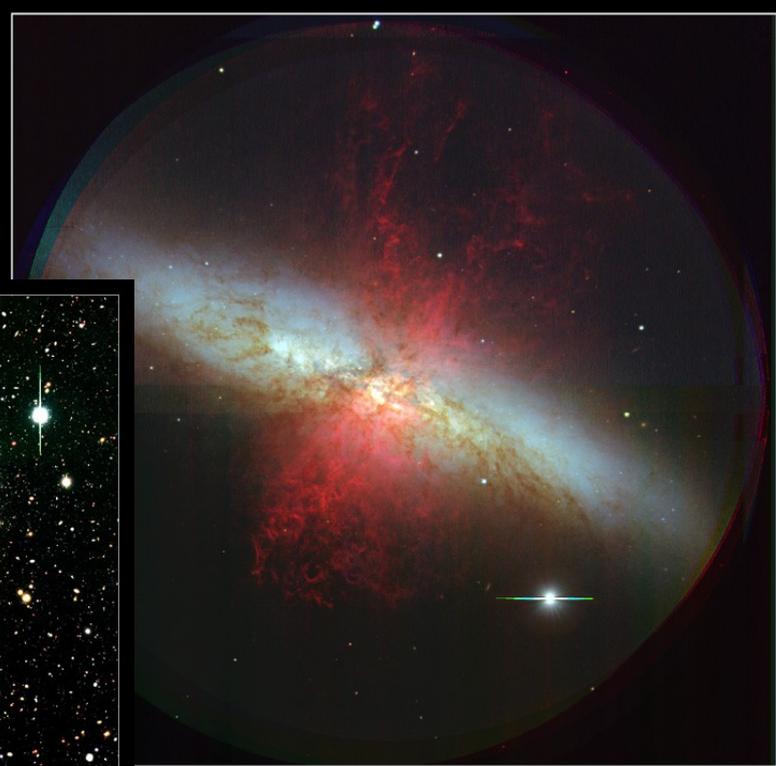
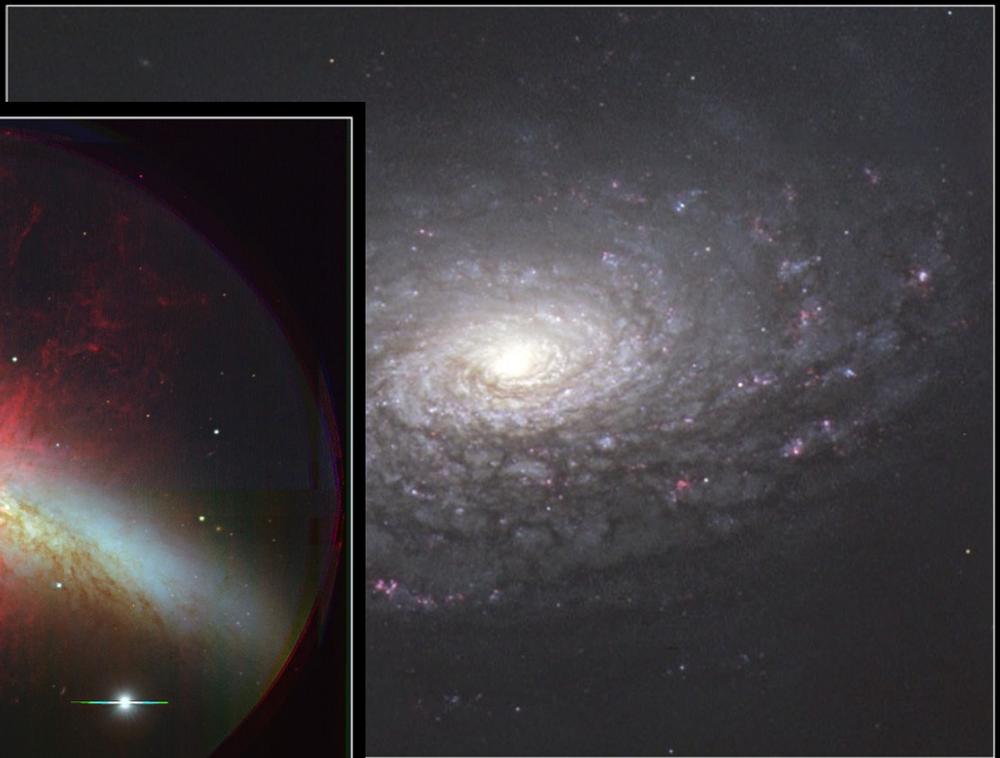
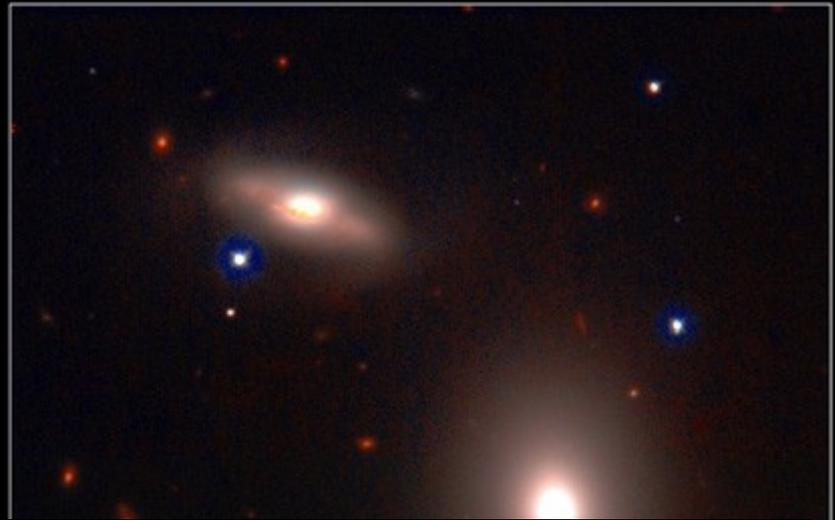
あはれ



無責任に
なんの根拠もなしに
広げるわけには
いかないのだ



おれの み 銀河が 見える ツ



Suprime-Cam (B, V, H α)

National Astronomical Observatory of Japan June 22, 2000
National Astronomical Observatory of Japan, all rights reserved

2 (NGC 3034)

FOCAS (B, V, H α)

Subaru Telescope, National Astronomical Observatory of Japan March 24, 2000



Dwarf Irregular Galaxy Leo A

Suprime-Cam (B, R, z')

Subaru Telescope, National Astronomical Observatory of Japan
Copyright © 2004 National Astronomical Observatory of Japan. All rights reserved.

Copyright © 2000 National Astronomical Observatory of Japan, all rights reserved

K'
999

と、いうわけで…

歴史の白いページを
切り開く第一歩とする

…ぐらいの気概を
持って研究会を
すすめたいと
思います。

